

展開する事業群(2-1-3)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野		不登校等への対応の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	20年度実績	19年度実績	18年度実績	17年度実績
子どもへの相談支援	児童館における相談(指導員と子どものふれあいの中での間接的な相談、手助け)	こども福祉	H17～21	随時、相談を受付している。日常会話の中で相談となるため、件数のカウントはしてない。	随時、相談を受付している。日常会話の中で相談となるため、件数のカウントはしてない。	随時、相談を受付している。日常会話の中で相談となるため、件数のカウントはしてない。	随時子育て全般について相談を受けている。
	小中学校でのカウンセラーによる教育相談	学校教育	H17～21	小・中学校で教育相談を実施し、精神衛生面での支援や不登校生徒・保護者への支援、学校に対するコンサルテーション機能を果たしている。 ・小学校(市事業) 実施回数 88回、相談件数 318件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ97件、相談人数 延べ556人	小・中学校で教育相談を実施し、精神衛生面での支援や不登校生徒・保護者への支援、学校に対するコンサルテーション機能を果たしている。 ・小学校(市事業) 87回開催、取扱件数 359件 ・中学校(府事業) 取扱件数 94件、相談人数 延べ605人	小学校では月に1回4時間(普賢寺小を除く)、合計87回279件の相談を実施 中学校では週に1回8時間、合計105回560件の相談を実施し、精神衛生面での支援や不登校生徒・保護者への支援、学校に対するコンサルテーション機能を果たしている。	小学校では、月に1回4時間、中学校では週に1回8時間実施した。合計86回実施し、324件の相談があった。
	適応指導教室(ポットラック)の充実	学校教育	H17～21	適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数 200日 通室延人数 640名	教室を1か所に統合し、開設時間と指導体制の充実強化を図ることにより不登校児童・生徒の学校復帰や進学への支援、保護者への相談体制の充実を図った。 開催 196回、参加人数 延べ646名	3箇所において週に2回開設 合計225回開設し、延べ453人の参加であった。	3箇所において週に2回、合計225回の開設をし、延べ590人の参加者があった。